

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和元年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	さがみ湖リフレッシュセンター
指定管理者名	株式会社 ギオン
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例
施設の設置目的	高齢者の健康の保持及び増進並びに介護知識及び介護方法の普及を図り、高齢者に趣味活動の場を提供し、並びに高齢者の機能訓練を行う拠点施設
施設概要	所在地 緑区若柳1207番地4 施設設置平成13年4月1日 敷地面積 2,055.14㎡ 建物延床面積 1,102.9㎡ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階) 1階 会議室 2階 ふれあいルーム1, 2 研修室 調理実習室 憩いの間 図書コーナー 交流コーナー 事務室
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部相模湖保健福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	24,160	26,617	26,741				
利用料金合計(円)	135,110	520,590	650,940				
(参考) 利用料金中、次年度分	—	175,585	116,025				

※新たな指定期間の開始により、令和元年度利用料金合計には平成30年度中の預り金(175,585円)を含みます。

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	<p>指標となる利用部屋数は目標値を上回る実績となったが、これは平成30年10月に下記のとおり利用区分を増加したことがその要因となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年 6月(目標設定時)⇒3区分(午前・午後・夜間)</li> <li>平成30年10月(利用料金改定)⇒5区分(午前・午後①・午後②・夜間①・夜間②)</li> </ul> <p>よって、今後の適正な評価の実施に向け、今年度中に目標値を見直すこととする。</p> <p>なお、利用団体の増加を目的として囲碁・将棋教室等のサークル化を進めるなどの努力を継続していることは評価できる。</p>

指標1	
指標名(単位)	施設の延利用部屋数(単位:回)
指標式と指標の説明	リフレッシュセンターを拠点とした活動の推進状況を、客観的に評価するため、1年間の施設の延利用部屋数を指標として設定する。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(件)	—	—	1,760	1,770	1,780	1,790	1,800
実績値(利用枠数)	1,841	2,167	2,229				
達成度(%)	—	—	126.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	定員と比較し参加者が少ない事業もあるが、介護予防を目的とした健康増進系の事業だけでなく、趣味の講座や調理実習室の利用拡大を目的とした「栄養セミナー」など、ターゲット層を明確にした事業も展開しており、多くの参加者から好評を得ていることから非常に評価できる。

##### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
健康体力測定会	6月～3月	介護予防事業として実施。9回の予定であったが、2月、3月はコロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。参加者 合計61名	○
体操教室・ストレッチ教室等	6月～3月	「簡単リズム体操教室」「ミニボール体験教室」など、健康体力測定会と日程を合わせ開催した。参加者 合計68名	○
囲碁・将棋教室	通年(月/1回)	地域の仲間づくり等のために実施。参加者は、募集人員を超える回がほとんどであった。参加者 合計125名	◎
健康麻雀教室	通年(月/1回)	認知症予防等のために実施。参加者は、募集人員を超える回が多くあった。参加者 合計 109名	◎
栄養セミナー	11月26日	健康な身体をつくるための栄養セミナーとして「高血圧を防ぐ食事の摂り方」を開催した。参加者7名	○

##### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機の設置	通年		○

#### 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	利用者からの要望を施設管理に適切に反映させ、快適な施設運営を行っている点や、スタッフに対して「職員の感じが良い」「声かけ、接客などとても良い」など感謝の声が届いている点は、高く評価できる。

##### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期: 令和2年1月～3月 サンプル件数: 264名
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	85.0%	85.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値 (%)	98.1%	97.5%	91.3%				
達成度 (%)	115.4%	114.7%	101.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、従事者会議で共有を図り、対応に努めている。
自主事業アンケート	事業毎	参加のきっかけ、満足度、要望等

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	評価対象年度の施設の収支状況において、本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、かつ選考委員会による意見として団体の財務状況についても、「団体本体の経営状況についても特段の問題無し」としている。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(円)
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入 (a)		13,927,830	14,136,510	15,420,717	
	指定管理料	13,780,420	13,611,420	14,730,277	
	利用料金収入	135,110	520,590	650,940	
	その他の収入	12,300	4,500	39,500	
支出 (b)		15,207,196	15,295,338	15,387,464	
	人件費	9,026,791	8,688,495	8,858,532	
	本社管理経費	1,309,705	1,634,905	180,000	
	その他の支出	4,870,700	4,971,938	6,348,932	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-1,279,366	-1,158,828	33,253	
自主事業収入 (d)		80,574	85,347	67,500	
自主事業支出 (e)		9,714	9,714	8,931	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		70,860	75,633	58,569	
全体収支 【(c)+(f)】		-1,208,506	-1,083,195	91,822	
備考	平成30年10月の料金改定以降、利用料金は増額となっている。				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年1月、9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
危機管理	適正に実施	各種マニュアルや消防訓練等により、適切に実施されている。
人員配置・地元活用	適正に実施	利用状況により、人員配置を変更するなど、適切に実施されている。
現金管理	適正に実施	原則として、収納翌日には口座へ入金するなど、適切に実施されている。
会計・経理	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
情報セキュリティ	適正に実施	マニュアルの整備や研修の実施等、適切に実施されている。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	情報公開マニュアルの整備等、適切に実施されている。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	協定による規定等に基づき、適切に実施されている。
加点事由	具体的内容	

## 8 指定管理者の自己評価

定期的に職員会議や研修を実施し、より良い施設にするべく、職員全員で意見を出し合って新たな取組を積極的に実施した結果、利用者数はふるさとまつりの中止や新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館の影響があったにもかかわらず、前年度の利用者数を超えることができました。修繕は緊急なものは早急に対応し、予防修繕は相見積もりを取りながら計画的に行うことで予算通りに実施しました。ロビーの照明を利用者に影響が出ない程度に間引きを行うとともに、日々節減に取り組んだ結果、年間で5631kwhの削減につながりました。

## 9 所管課意見

・指定管理期間の初年度であるが、東日本台風や新型コロナウイルス感染症の影響等があるなかで、前年と比較し利用者が増加していることや丁寧な接遇などにより満足度調査においても高い評価が得られたことは、安全で快適な施設運営ができたものと評価できる。

・今後とも、指定管理者として利用者のニーズ把握によってリフレッシュセンターの機能が充実することや、施設・事業等の周知方法を工夫し、より多くの方に利用いただける施設となるよう期待する。

・企画提案事業については、定員に満たないものいくつか見られるので、引き続き、リフレッシュセンター通信等による情報発信や利用者への働きかけなど創意工夫して、多くの方に参加いただくよう努めていただきたい。

## 10 選考委員会意見

・東日本台風及び新型コロナウイルス感染症の影響があったなかでも、利用者数は昨年度を上回っており、健康体力測定会等の各種教室の開催など、介護予防を目的とした事業の実施を含め、地域に根差し、利用者のニーズに合わせた施設運営を行っている点は高く評価できる。

・利用者満足度調査ではよい評価を得ているが、アンケートに未記入の方が多いことから、実績値が年々下がっている。アンケートの回答方法を工夫し、利用者のニーズを把握して、さらに、高い評価が得られるように努めてほしい。また、調査の際に、利用者の居住地域や年齢などについて分析を行い、その結果に基づいた事業展開を期待するとともに、地域団体及び関係機関と連携を図りながら、質を高めていただくようお願いしたい。

